

平成29年8月期(53期) 第3四半期決算補足資料

平成29年6月30日

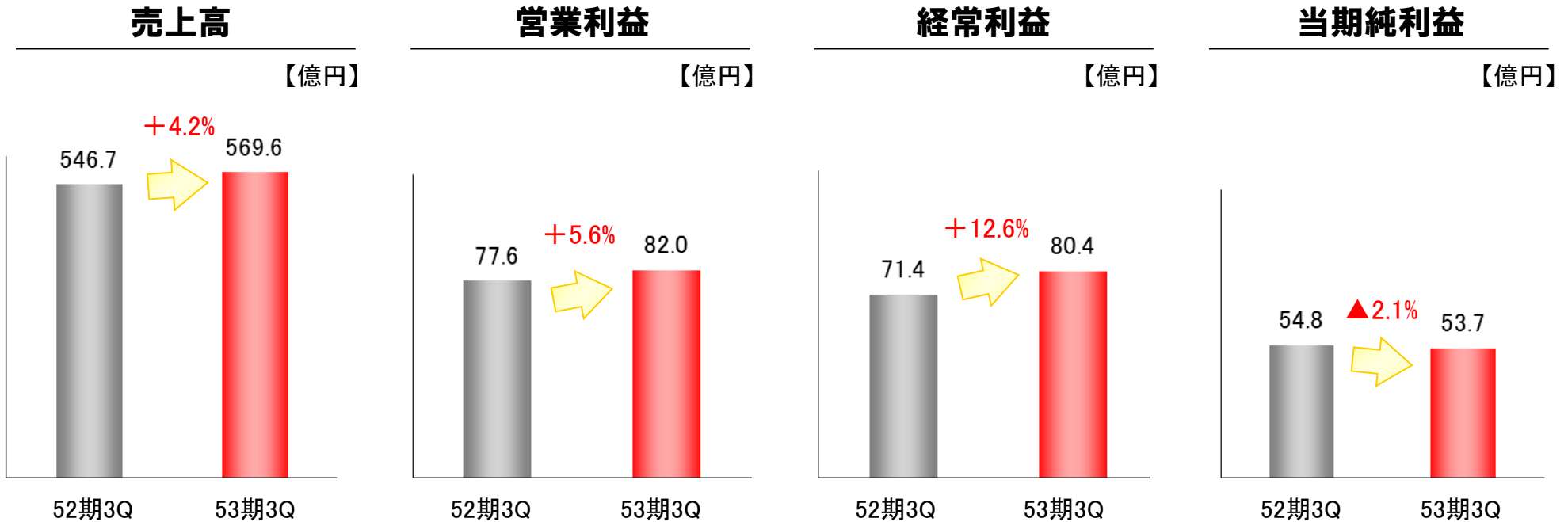


目次

- 1. 業績関連 ... P2
- 2. 財務／経営指標関連 ... P7
- 3. 事業関連 ... P12
- 4. 第3四半期TOPICS ... P15
- 5. 免責事項 ... P20

|| 業績関連 || 53期第3四半期経営成績(累計/前期対比)

- 売上高は、第2四半期に続き各事業が堅調に推移し前年同期比で増収。
- 営業利益は人員拡充・将来施策・新規事業に費用投下するも、のれんの償却終了により増益。経常利益は金融費用及び借入金圧縮に伴う金利負担が減少し増益。当期純利益は法人税等が増加したため減益。



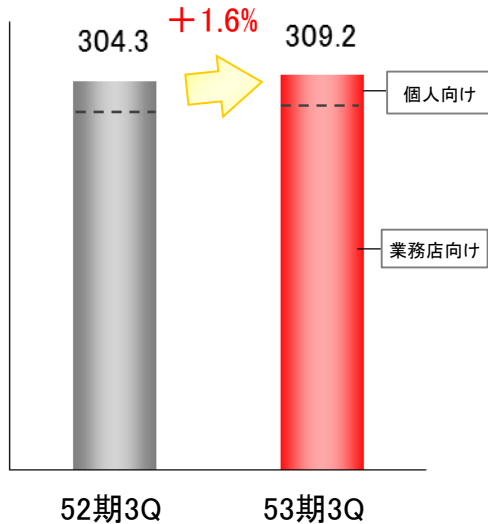
※ 実績値は端数切捨て、パーセンテージは小数点第2位以下を四捨五入

|| 業績関連 || 53期第3四半期経営成績(累計/前期対比)

セグメント別 売上高

音楽配信事業

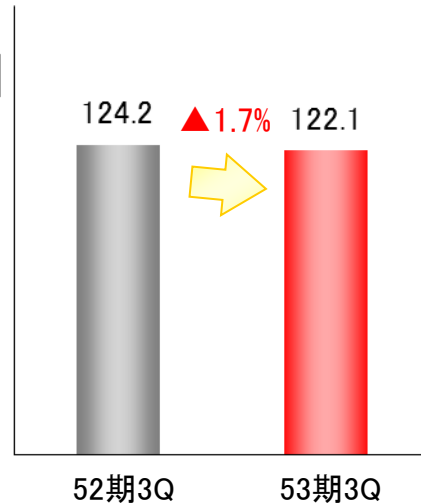
【億円】



業務店ソリューションの
拡販により増収

業務用システム事業

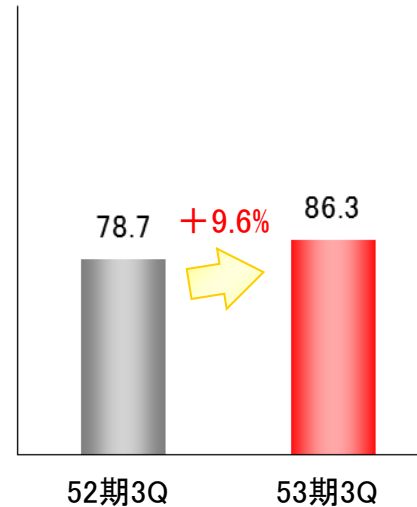
【億円】



病院向けの
納品減少による減収

ICT事業

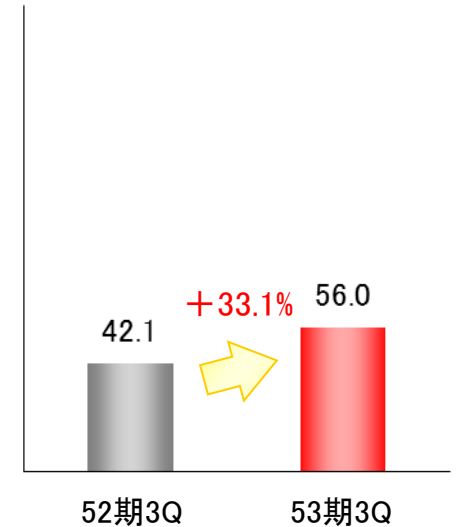
【億円】



サービス提供件数増加により増収

その他

【億円】



エネルギー事業や
集客支援事業の拡大により増収

(参考) 業務店向け/個人向けの内訳は当社管理上の指標となります

※ 52期セグメント売上高はセグメント間取引消去等により、連結売上高と▲2.7億円の調整を行っております

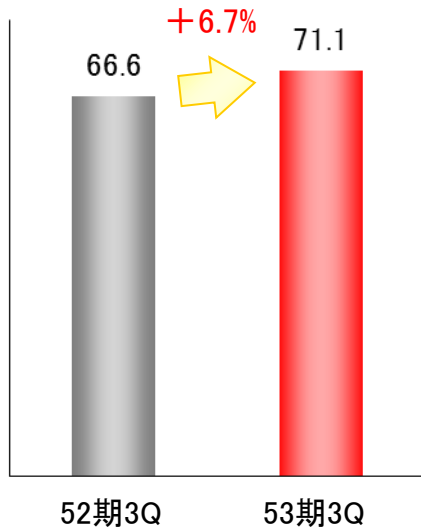
※ 53期セグメント売上高はセグメント間取引消去等により、連結売上高と▲4.1億円の調整を行っております

|| 業績関連 || 53期第3四半期経営成績(累計/前期対比)

セグメント別 営業利益

音楽配信事業

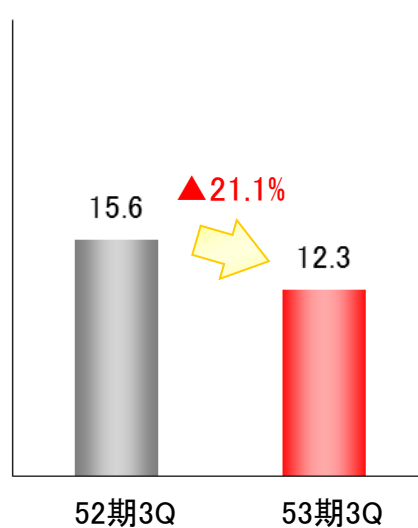
【億円】



業務店ソリューションの
拡販により増益

業務用システム事業

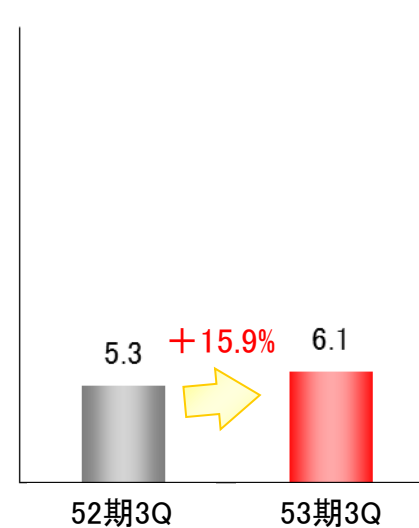
【億円】



納品減少による減収及び
人員拡充・開発費を含む
費用投下により減益

ICT事業

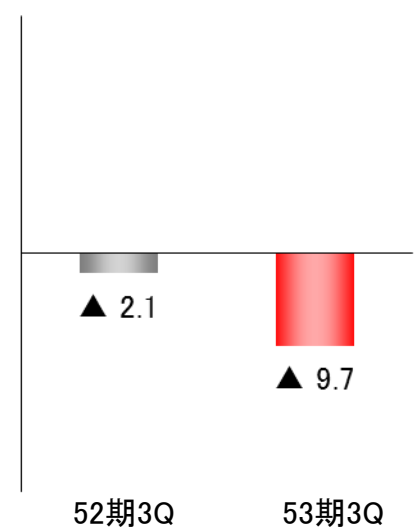
【億円】



サービス提供件数増加により増益

その他

【億円】



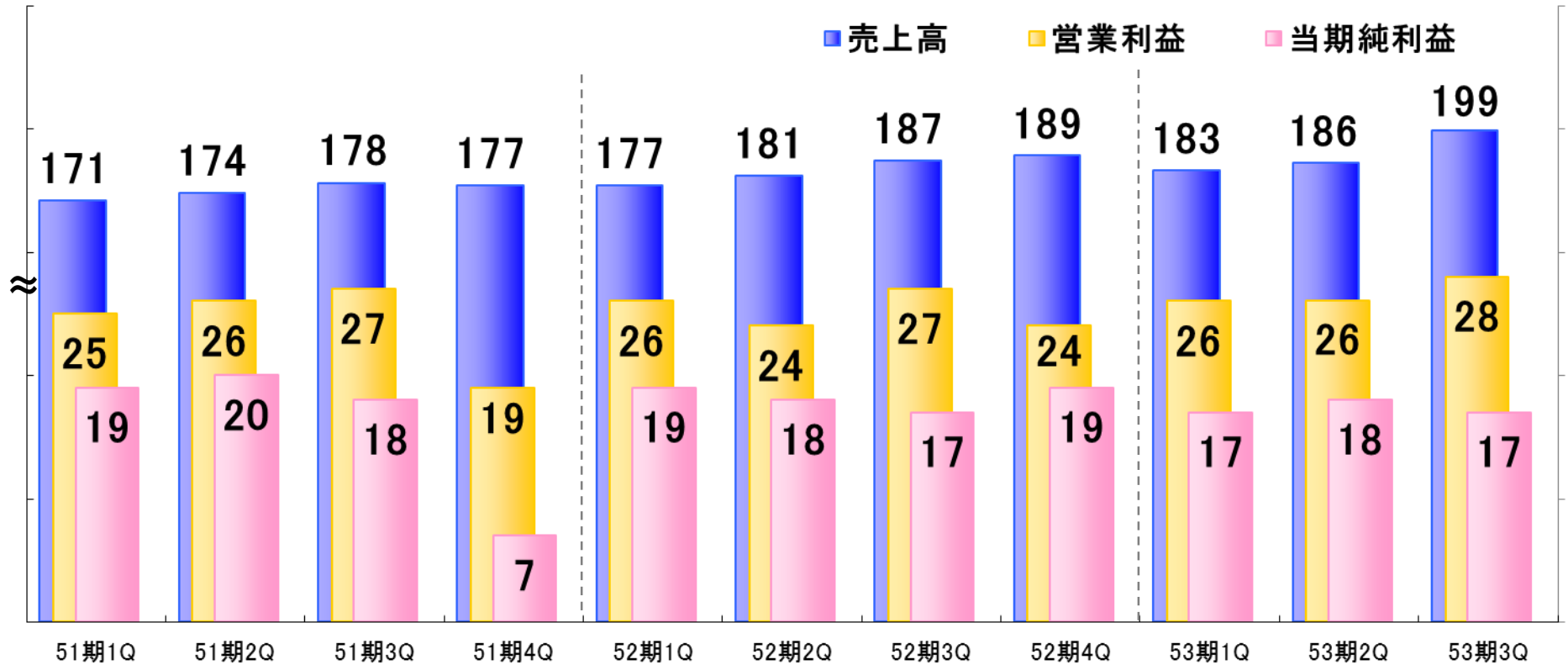
エネルギー事業の立ち上げ
費用投下等により減益

※ 52期セグメント営業利益はセグメント間取引消去等により、連結営業利益と▲7.8億円の調整を行っております

※ 53期セグメント営業利益はセグメント間取引消去等により、連結営業利益と+2.0億円の調整を行っております

業績関連 連結経営成績推移

【億円】



当四半期売上高はエネルギー事業の伸張もあり前年同期比で大幅増収
営業利益、当期純利益は前年同期比でほぼ同水準で安定的に推移

※ 各数値は端数切捨て

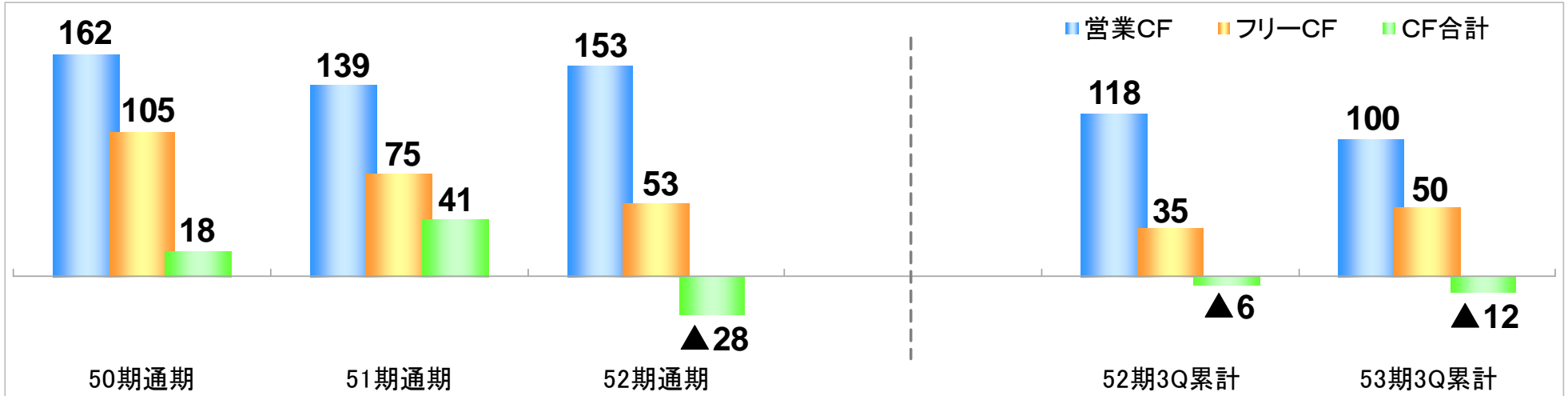
|| 業績関連 || 業績予想に対する進捗率

	【億円】	通期予想 (A)	3Q累計実績 (B)	進捗率 (B÷A)
売上高		787.0	569.6	72.4%
営業利益		108.0	82.0	76.0%
経常利益		105.0	80.4	76.6%
当期純利益		61.0	53.7	88.1%

売上高/営業利益/経常利益は概ね予想通りに進捗
当期純利益は予想を上回るペースで推移

|| 財務／経営指標関連 || キャッシュフロー推移

【億円】



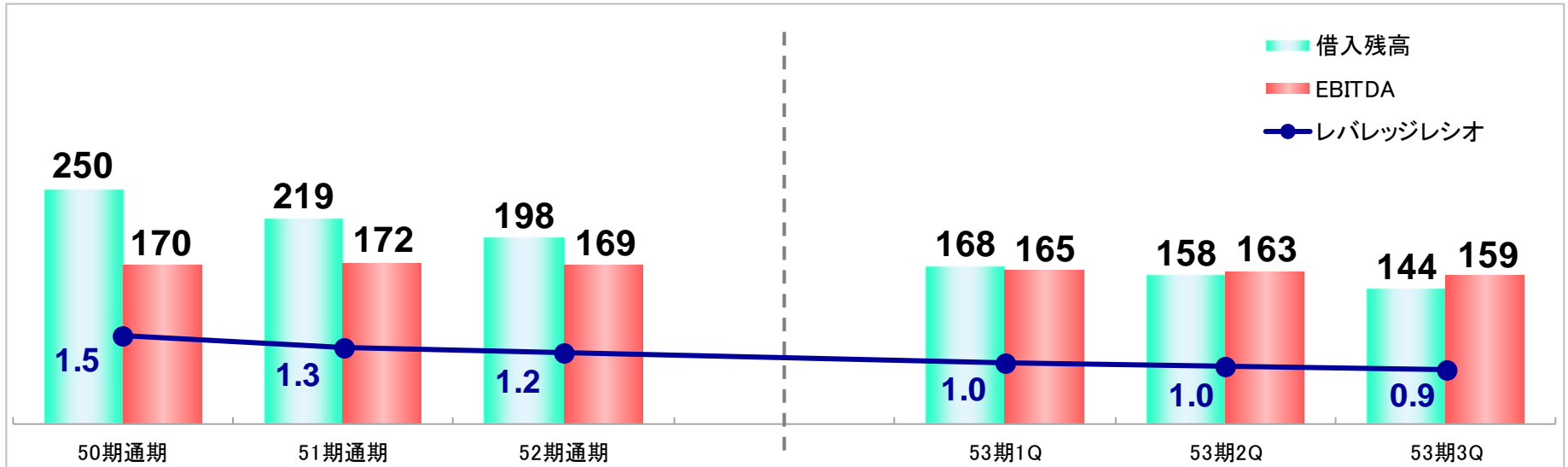
※フリーCF=営業CF+投資CF、CF合計=フリーCF+財務CF

<営業CF>	162	139	153	118	100
<投資CF>	▲56	▲63	▲99	▲83	▲49
<財務CF>	▲86	▲33	▲82	▲41	▲62

営業CFは一時的な在庫の増加並びに法人税支払額の増加等により前年同期比減少、
投資CFは大型の投融資案件がなく支出減少も、
財務CFが有利子負債圧縮により支出増加したため、CF合計では約6億円の支出増加

|| 財務／経営指標関連 || レバレッジレシオ

【億円、倍】



※EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費

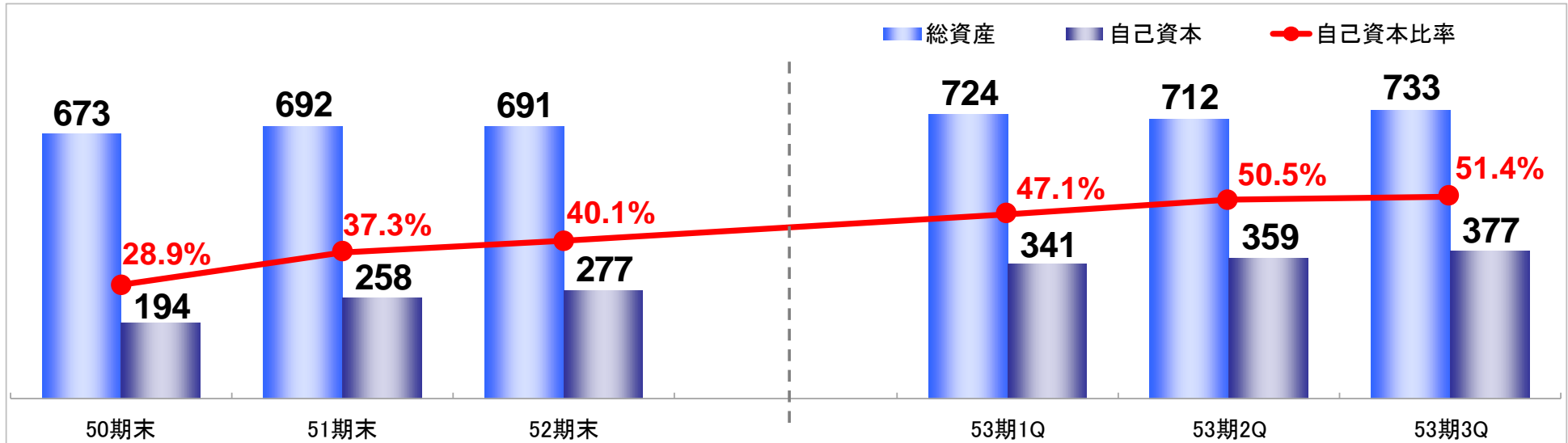
※EBITDAは直近12ヶ月ベースで算出

※レバレッジレシオ = 借入残高 ÷ 直近12ヶ月ベースEBITDA

EBITDAは償却費の減少により微減も、
借入残高も減少したため、レバレッジレシオは0.9倍に

財務／経営指標関連 自己資本比率

【億円、％】

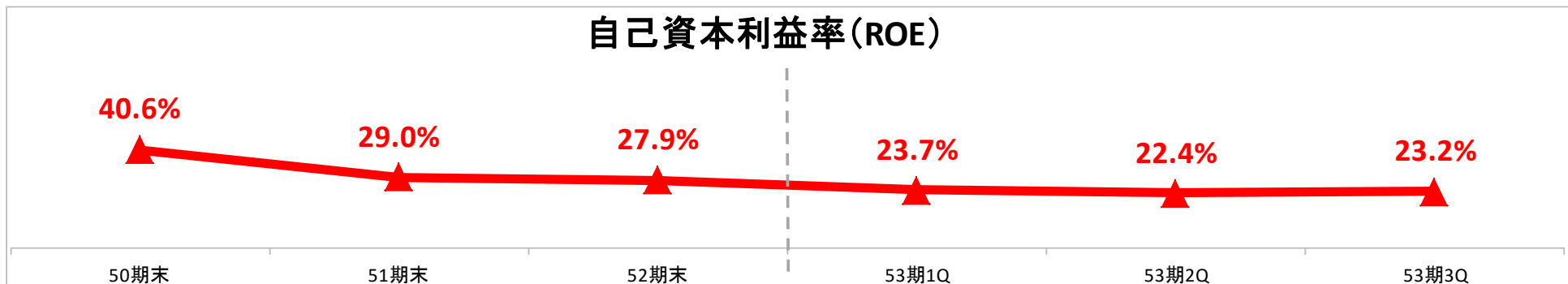
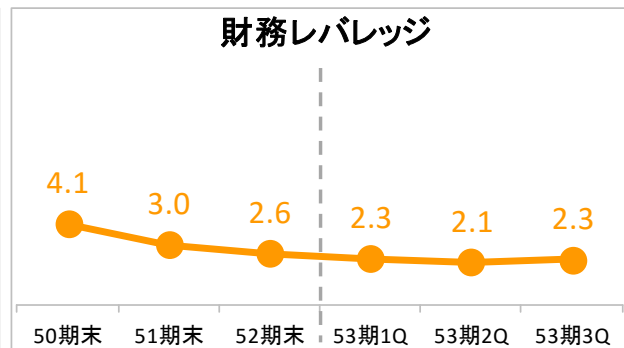
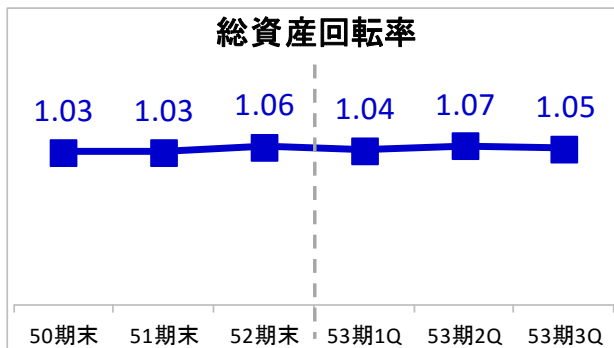
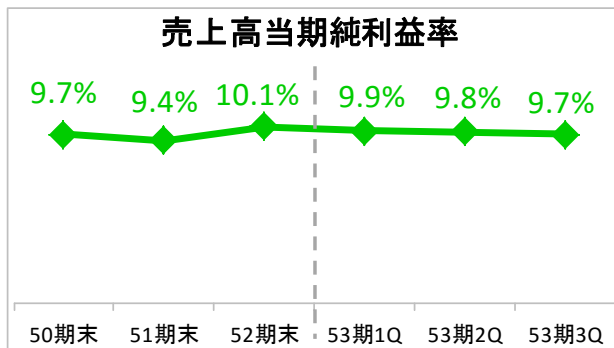


※自己資本 = 純資産 - 新株予約権

総資産は音楽配信事業の年払い聴取料前受により現預金が増加、
安定的な当期純利益の積み上げにより自己資本比率は51.4%に

○ 53期首において、税効果会計に係る会計方針の変更影響により繰延税金資産及び純資産が約52億円増加しております。
詳細は「平成29年8月期 第3四半期決算短信」6頁をご参照下さい。

|| 財務／経営指標関連 || 自己資本利益率(ROE)



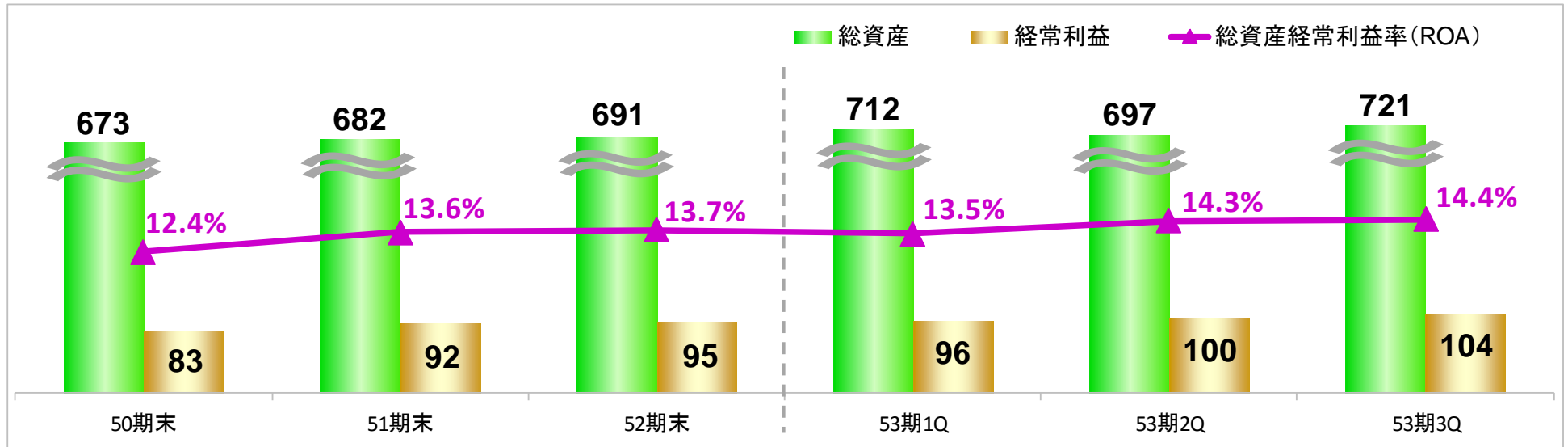
※自己資本利益率(ROE) = 売上高当期純利益率 × 総資産回転率 × 財務レバレッジ

※53期3Qの売上高及び当期純利益は直近12ヶ月ベース、総資産及び自己資本は52期3Qと53期3Qの平均値

売上高当期純利益率および総資産回転率は同水準で推移、
期中平均総資産の増加等により財務レバレッジが微増し、ROEは23.2%に

|| 財務／経営指標関連 || 総資産経常利益率(ROA)

【億円、%】



※総資産経常利益率(ROA) = 経常利益／総資産 × 100

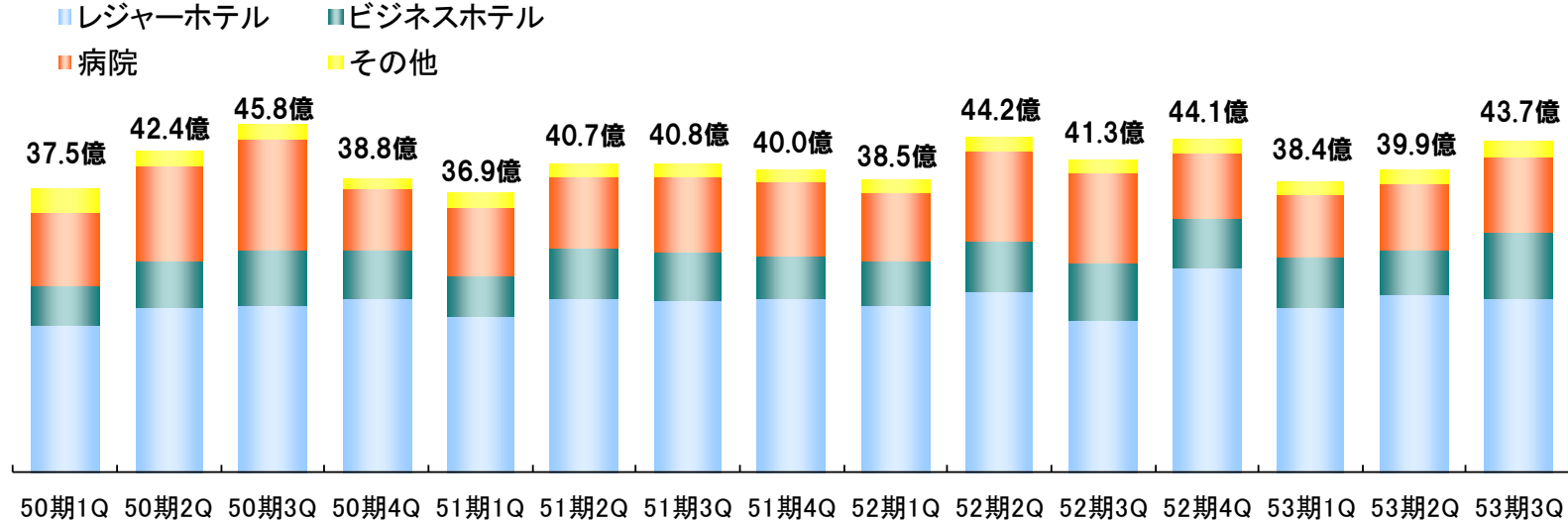
※53期3Qの経常利益は直近12ヶ月ベース

※53期3Qの期中平均総資産は52期3Qと53期3Qの平均値

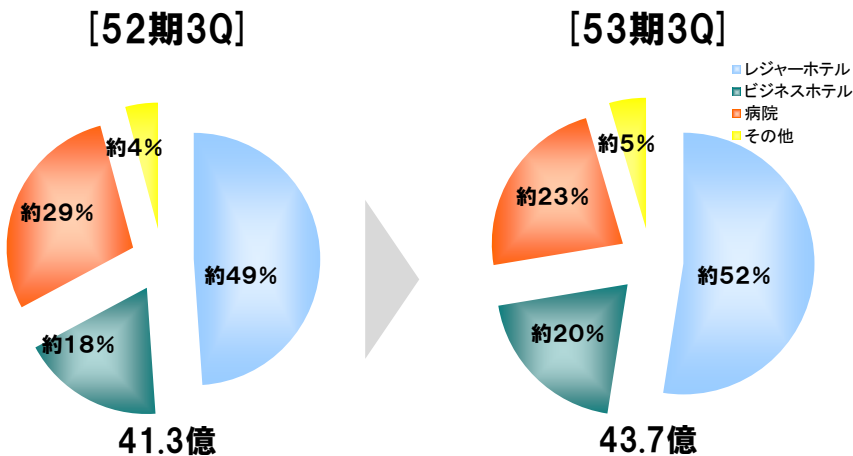
期中平均総資産は増加も、経常利益が増加傾向で推移したため、ROAは14.4%と微増

|| 事業関連(業務用システム事業) || 売上ポートフォリオ

■ 四半期推移



■ 前年同期比

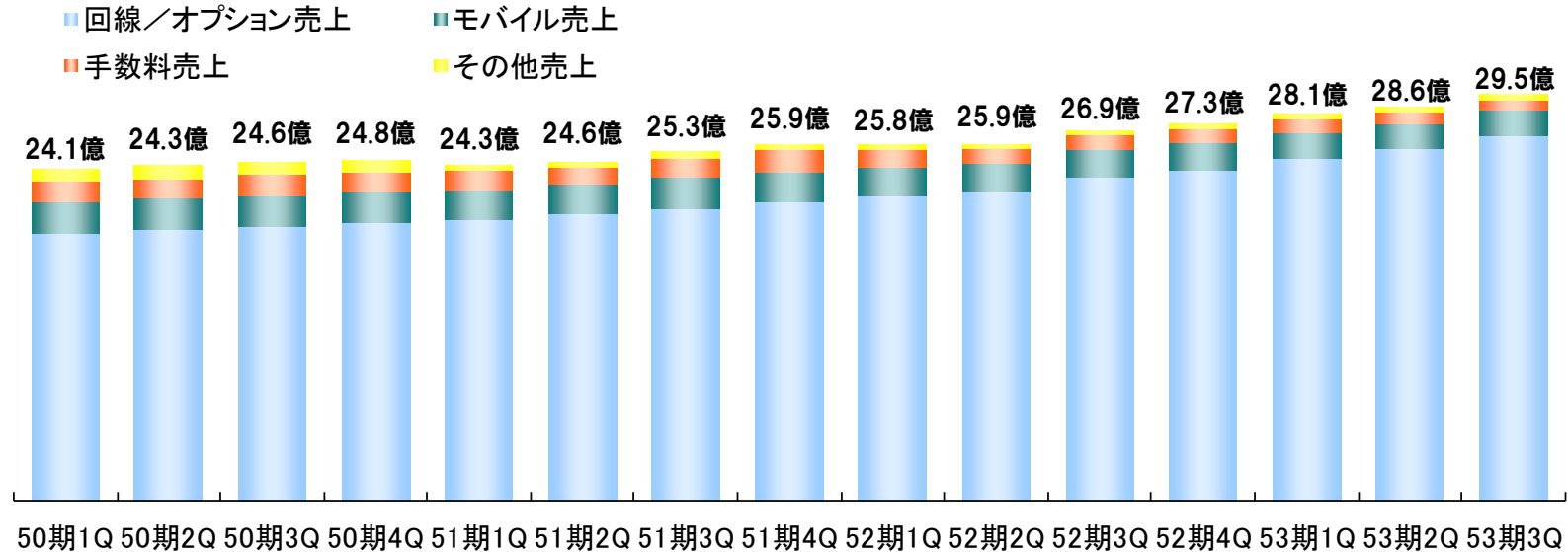


○ 売上は前四半期比で大きく増加

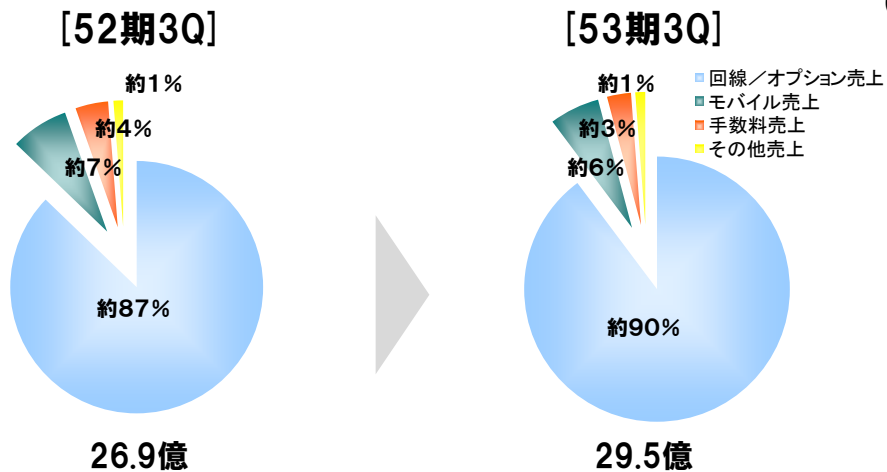
- ビジネスホテル・病院への納品増により増収
- ビジネスホテル向け電子宿泊台帳『SignUp』をリリース。
タブレット端末でのチェックインにより、多言語対応・顧客管理・ペーパーレス化を実現。
フロント業務の自動化・効率化を更に促進していく。

|| 事業関連(ICT事業) || 売上ポートフォリオ

■四半期推移



■前年同期比

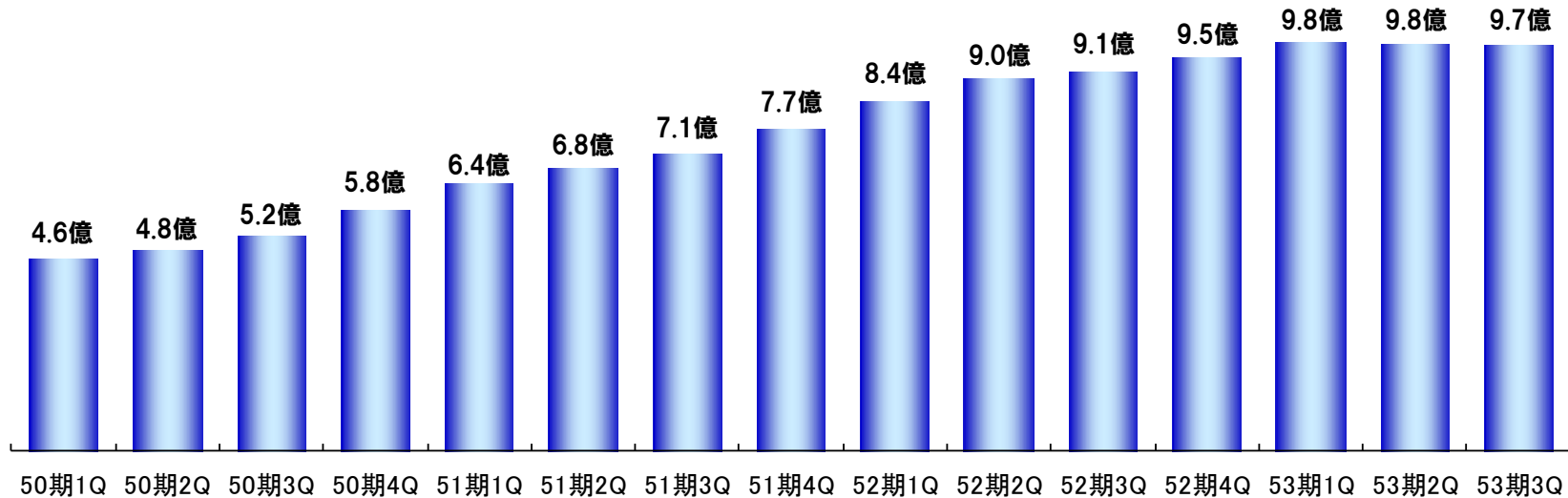


○売上は前四半期比/前年同期比で増収

- 主力の回線/オプションサービスが増収基調を維持し事業全体の売上拡大を牽引。
- 当社仕入先のベンダーから多くの表彰・認定を受ける。当社のソリューション・販売力が評価されている。
 - ・ CYBOZU AWARD 2017『部門賞 セールス賞』受賞
 - ・ IIJ Partner of the Year 2016『IIJ Omnibusサービスアワード』初受賞
 - ・ 「ワークスモバイルジャパン パートナー認定プログラム」の最上位ランク「プラチナパートナー」に認定

|| 事業関連(その他事業) || 集客支援事業 売上推移

■ 四半期推移



○ 売上は前四半期比ほぼ横ばい

- 自社運営グルメサイトのヒトサラや付随サービスの販売は堅調に推移。
- 5月の美容業界国内最大のイベント『beauty world JAPAN』に出展。
【be SMART】をコンセプトとし、USEN Register for ビューティー、OTORAKU、bangs、UPLink等、美容店への総合ソリューション企業としてのUSENをブランディング。

be SMART
by USEN

▶▶ 2017年5月 視覚障害者向け有線放送機器の試作機を 第70回全国盲人福祉大会 福祉機器展に出展

視覚障害者にとって使いやすい機器を開発するため、厚生労働省(実施団体:公益財団法人 テクノエイド協会)による「平成27年度及び28年度障害者自立支援機器等開発促進事業」に応募し、「視覚障害者向け有線放送機器の開発」が採択された。

社会福祉法人日本盲人会連合をはじめとした視覚障害者関連団体の協力による実証試験を経て、「分かりやすい新型リモコン」と「音声案内チューナー」を開発。

製品化は、2017年夏以降を予定。



|| 第3四半期TOPICS || 音楽配信事業関連

▶▶ 2017年5月 カード決済サービス「USEN PAYGATE」の販売をスタート



「USEN PAYGATE」は、iPadまたはiPhoneと専用カードリーダーがあればクレジットカード決済が可能。

店舗・施設におけるICT化の流れを汲むもので、テーブル決済を可能にする利便性向上や決済手数料のコスト軽減が可能に。



今後も店舗のICT化に向けたトータルソリューション・サービスの提案から設置、保守までをワンストップで提供できる当社の強みを活かしていく。

|| 第3四半期TOPICS || 業務用システム事業関連

▶▶ 2017年3月 話題のホテル“変なホテル舞浜東京ベイ”にアルメックス製品を導入



タブレットで宿泊受付、訪日外国人は
パスポート読み取りでチェックイン



USEN子会社のアルメックスの主力商材である自動精算機は、ビジネスホテル市場で高いシェアを誇り、「変なホテル」開業当初から導入頂く。

第2号となる「変なホテル舞浜東京ベイ」においても、自動精算機に加え、新製品である電子宿泊台帳『SignUp』のソリューション群が採用された。

▶▶ あべのハルカスダイニングが、店舗作成アプリ『UPLink』を活用した専用アプリをリリース

当社の『UPLink』を活用し、レストラン街44店舗がまとまった専用アプリをリリース。あべのハルカスダイニングの予約システム『ダイニングリザーブ』及び『ヒトサラ』とも連携。レストラン街の店ごとの料理人にフォーカスしながら、丁寧に紹介することでレストラン選びを楽しくする。

名称： あべのハルカスダイニングアプリ

開設日： 2017年5月17日

対応OS： Android、iTunes

価格： 無料

主な機能： アプリ限定クーポンの配信、来店時のアプリスタンプ付与、ヒトサラページ閲覧、あべのハルカスダイニング専用予約サイト「ダイニングリザーブ」へのアクセス



※ヒトサラ掲載イメージ



▶▶ 経営統合に係る臨時株主総会開催

株式会社U-NEXTとの経営統合に向け、6月19日開催の取締役会において、下記要領にて臨時株主総会を開催することを決議、4議案を付議予定。

■臨時株主総会

1. 開催日時 2017年7月11日(火) 午前10時から
2. 開催場所 東京都千代田区半蔵門一丁目6番4号 ベルサール半蔵門 イベントホール
3. 付議議案
 - 第1号議案 株式併合の件
 - 第2号議案 定款一部変更の件
 - 第3号議案 吸収分割契約承認の件
 - 第4号議案 吸収合併契約承認の件

|| 免責事項 ||

本資料は、信頼できると思われる各種数値に基づいて作成されておりますが、その正確性／完全性を保証するものではありません。

本資料に記載されている、USENの計画／戦略等のうち歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断に基づいております。実際の業績はさまざまな重要な要素によりこれらの業績見通しとは異なる結果となりうる事をご承知置き下さい。

本資料は、投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成しております。本資料に記載されるいかなる情報も、投資勧誘を目的としたものではありません。